



Kawasaki Robot e-News はカワサキロボットのお客様に有益な情報やホットな話題を提供する隔月の電子情報誌です。

産業用ロボット規制改革

生産現場効率化のため、産業用ロボットと人間が同じ現場で作業すること（協働作業）が求められていますが、国内では労働安全衛生規則第150条の4の規定により、出力80Wを超える産業用ロボットには安全対策としてさく又は囲い等を設けなければならないとされています。このため国際規格（ISO規格）で認められているロボットと人間の協働作業が可能か否か不明確となっています。

今回80Wを超えるロボットでも人間との協働作業が可能となるよう、既存の労働安全衛生規則はそのままに、さくや囲いだけではなくリスクアセスメントやISO規格に基づく安全対策も認められるよう答申が出されました。

内閣府 規制改革推進室が中心となって進められている産業用ロボットの規制改革についての答申が安倍内閣総理大臣に提出され、内閣府ホームページでも公開されています。

<http://www8.cao.go.jp/kisei-kaikaku/kaigi/meeting/2013/committee/130605/agenda.html>

（掲載資料3「規制改革に関する答申」P78）

今後、閣議決定を経て、早期に具体的に措置されることで日本のものづくり生産現場の効率化が更に改善することが期待できます。

システムパートナー紹介

国内一般産機分野で当社ロボットのシステム販売に協力いただけるシステムインテグレータで、当社とシステムパートナー契約を結んだ徳真電機工業株式会社様をご紹介します。

同社の拠点は徳島県板野郡の板野IC近傍で四国の玄関口に位置し、主に自動車・自動車部品メーカー向けの産業用専用機の開発、設計、製作を行い、中でも測定機、検査機を得意分野とされ業界から高い評価を得られています。これまでカワサキロボットを使ったガラスパネル搬送システムやハンドリングシステム等、各種システムも数多く手掛けていただいております。現在同社の工場にはカワサキロボットのデモコーナーが完備されていますので、簡単な適用テスト、実機検証 操作説明などが可能となっています。また専任エンジニアが適用検討を始め、ロボットによる画期的なシステム提案もさせていただきますので、ご用命の際は当社の関西・四国地区営業までお問い合わせください。



ASEAN プラス代理店会議

タイで、6月11日と12日の2日間、カワサキの代理店があるインドネシア、マレーシア、シンガポールのASEAN諸国にインドを加えた計5か国から代理店を迎え代理店会議を開催しました。

Kawasaki Motors Thailand ロボット事業部（以下KMT）の使命は、急速に拡大するタイのマーケットでプレゼンスを高める一方、同じく成長期を迎えているASEAN地区のヘッドクォーターとして、地域の各代理店を支援していくことです。

とはいえ、KMTの実力はまだまだ発展段階です。日本や世界各地のカワサキロボットの子会社のサポートを受けつつ、KMTが成長し、同時に「カワサキ・ファミリー」として、ASEAN+地域全体でのプレゼンスを高め、事業拡大を図りたいと思っています。『灼熱アジア』にご期待ください。

